



公益社団法人

日本山岳会

The Japanese Alpine Club

The Japanese Alpine Club

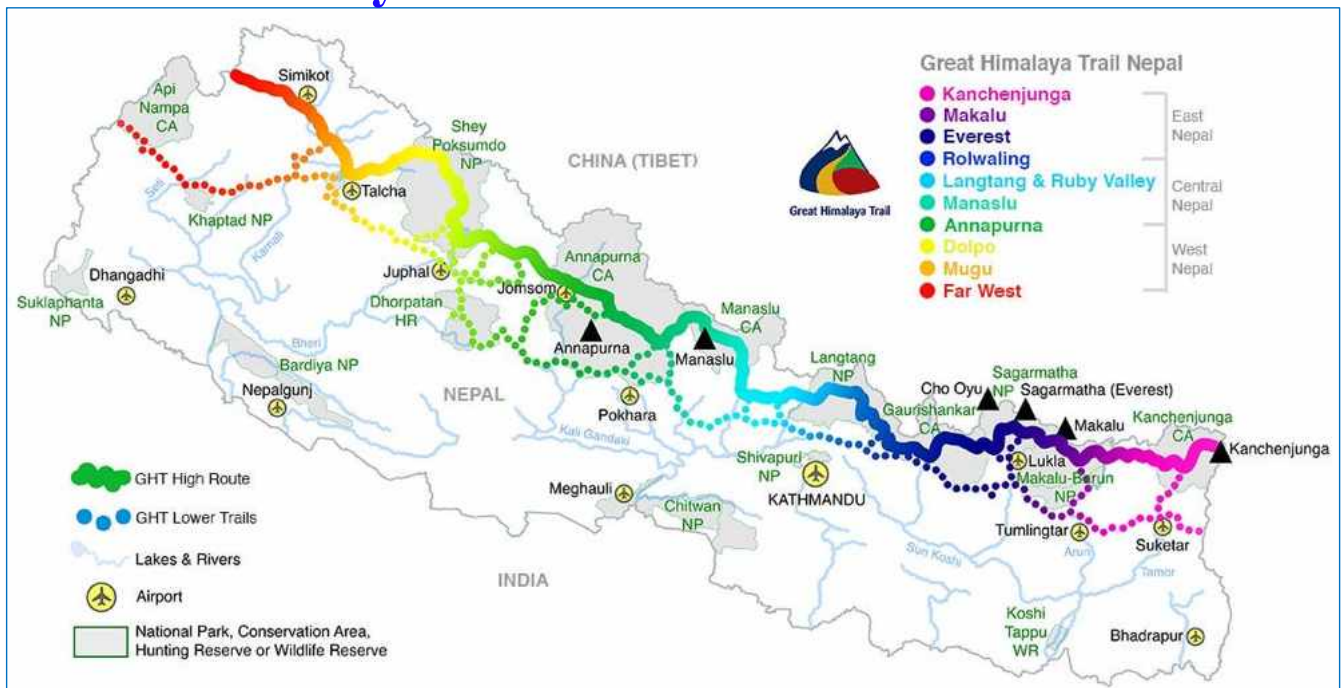
Great Himalaya Traverse

GHT 7th 2025

*Baltoro Glacier to K2 Route and Biafo Glacier, Hisper Glacier
and Latok Mountains Route*

16 Jun. 2025 ~ 10 Aug. 2025

Great Himalaya Trail

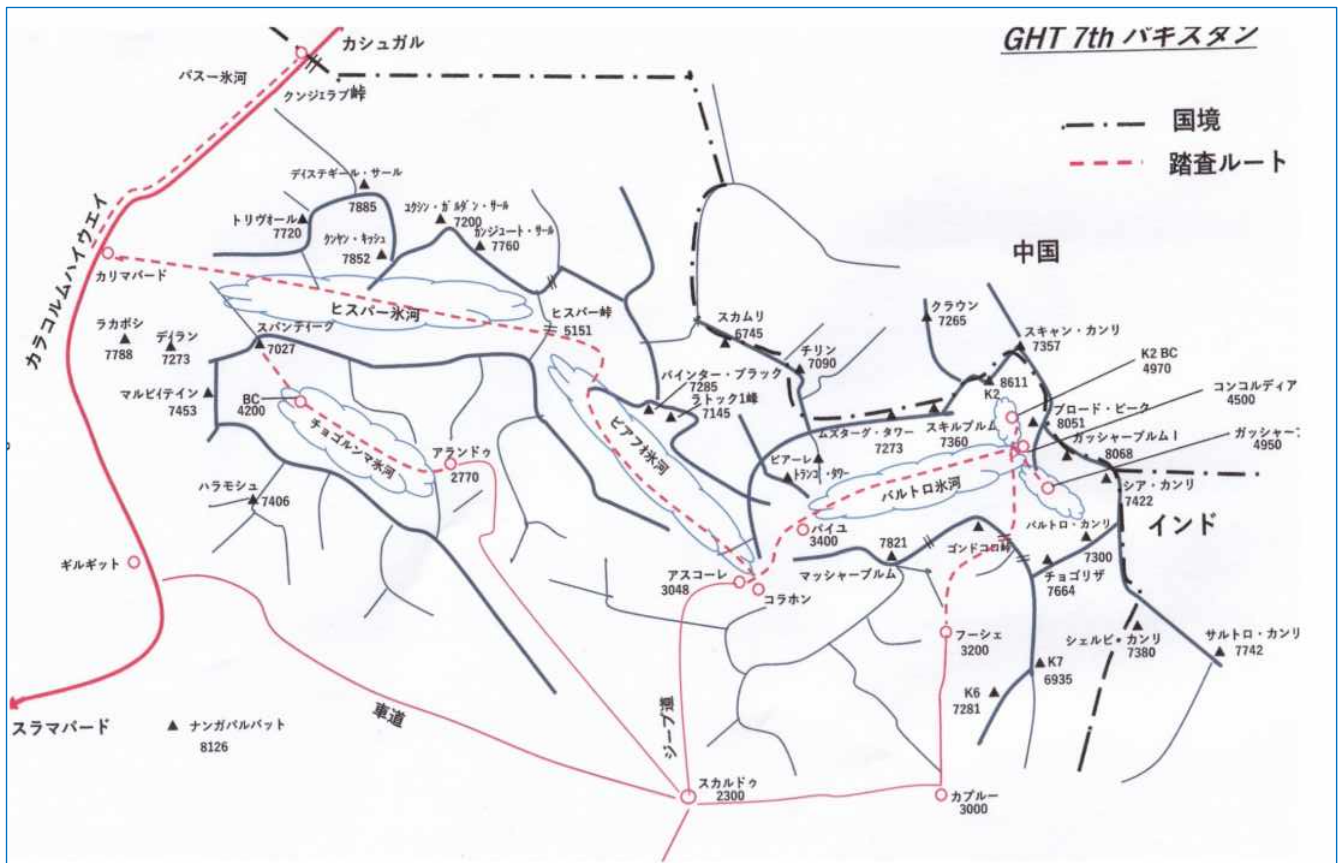


ブータンヒマラヤからカラコルムまで大凡5000キロ
標高5千から6千の峠が数十箇所
補給困難な地域も多数

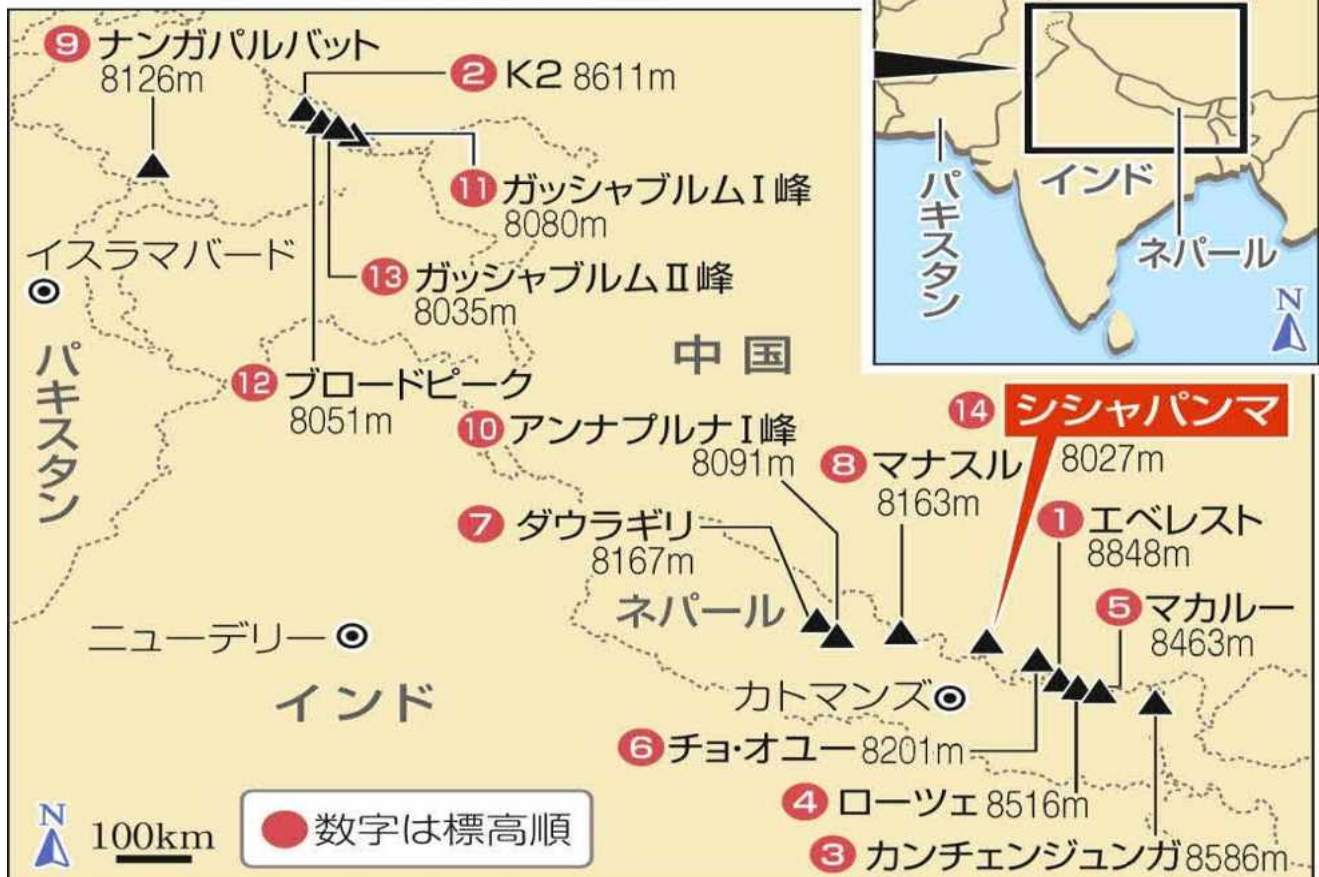
※グレート・ヒマラヤ・トレイル(GHT)の名称は2009頃から

◆カラコルム地域:8千メートル4座

世界の7千メートルの約半数がこの地域に密集・・最も山岳密度が高い地域
カラコルム地域を中心に7千もの氷河が集中・・極地以外では最大の氷塊



8000メートル全14座



グレート・ヒマラヤ・トラバース (GHT) 経過

1st : 2020年 2月 29日~ 5月16日:

⇒カンチェンジュンガエリア (パブクカン 6244m 試登)

2nd : 2022年 10月 1日~ 11月26日:

⇒マカルーエリア (ティプタ・ラ、3 コルの通過)

3rd : 2023年 4月 1日~ 5月 31日:

⇒クーンブ・ロールワリン・ランタンエリア

4th : 2023年 10月 7日~ 11月 25日:

⇒ガネッシュ・マナスル・アンナプルナエリア (ナムン峠)

5th : 2024年 4月 15日~ 6月 26日:

⇒アッパードルポ・ムグ・フムラエリア

6th : 2024年 10月 1日~ 11月25日 :

⇒インドヒマラヤ

7th : 2025年 6月 16日~ 8月10日 :

⇒バルトロ氷河からK2ルート (GHT7thファイナル)

グレート・ヒマラヤ・トラバース (GHT)

◆重 廣 恒 夫 隊長

・K2登頂者(世界第2登頂者、日本人初登頂1977年・・森田勝)

・ナムチャバルワ峰隊長(1990-1992)など数々の初登頂等の功績により
スポーツ功労者顕彰(1992年)

その他

◆1973年 第2次RCC エベレスト南西壁 (加藤・石黒・・長谷川恒男)

◆1976年 日本・インド合同ナンダ・デヴィ東峰(日本人初登頂者)

◆1979年 未踏峰ラトックI峰

◆1980年 エベレスト[北壁](8,848m)から世界初登頂

◆1984年 カンチェンジュンガ南峰(8,491m)-中央峰(8,482m)縦走

◆1985年 マツジャーブルム(7,821m)登頂:未踏の[北西壁]から

◆1985年 ブロードピーク(8,047m)登頂。アルパインスタイル

◆1988年 エベレスト日本・中国・ネパール三国の友好登山隊
交差縦走の指揮

◆1992年 スポーツ功労者顕彰



日本山岳会でのGHT会議 (ヒマラヤ登山塾)



遠征準備 (2025.3~6)

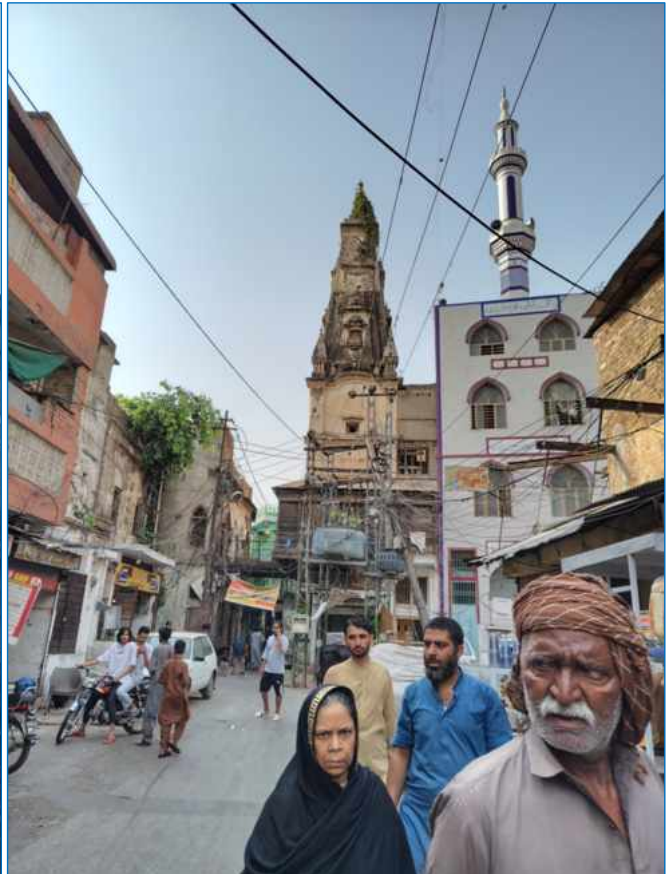


2025.6.16
羽田
第3ターミナル

いわき
↓
羽田
↓
バンコク
↓
イスラマバード



イスラマバード(旧市街6.17)



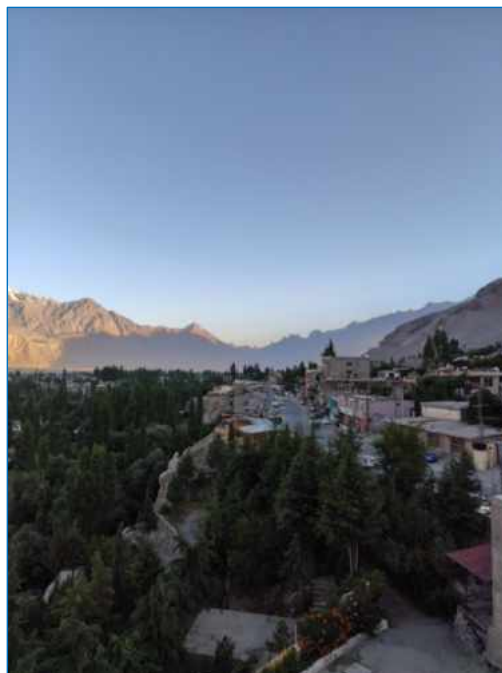
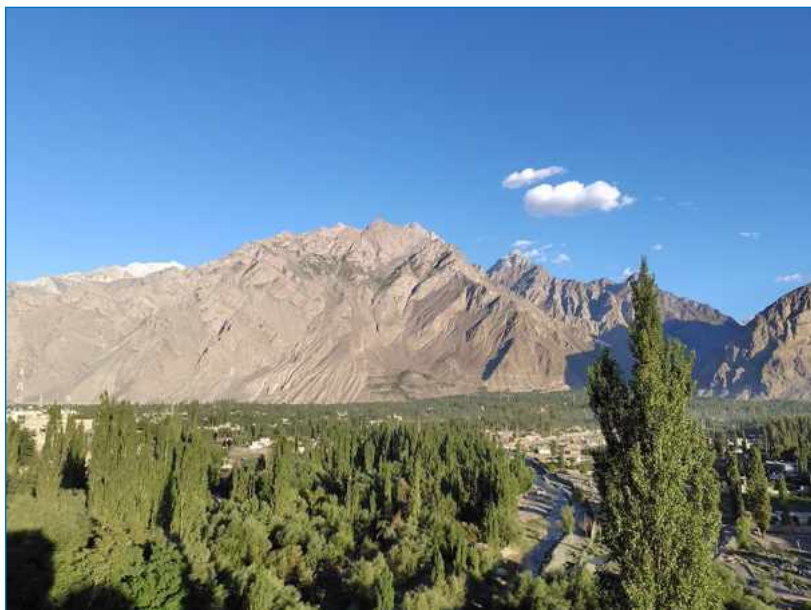
イスラマバード(旧市街6.17)



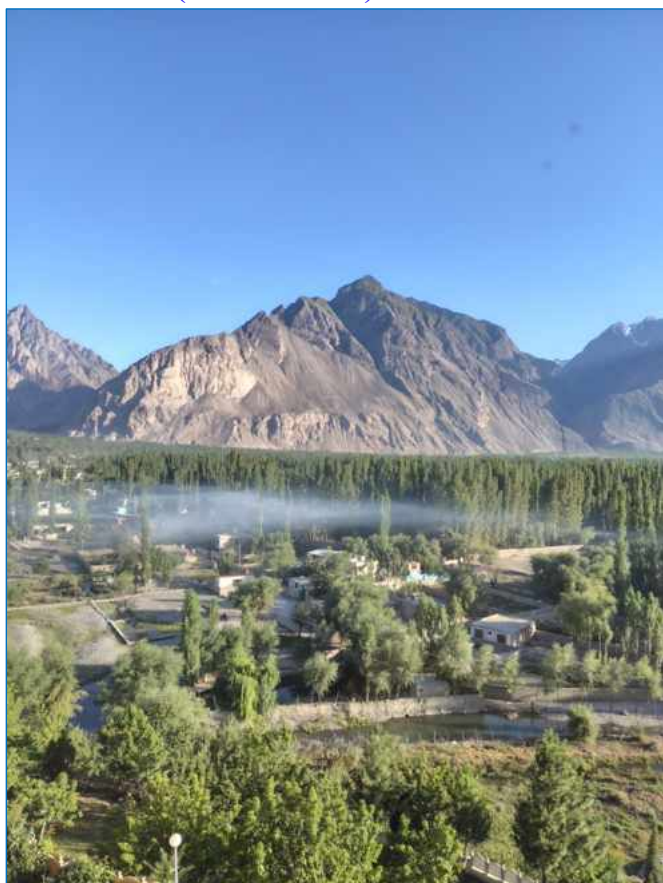
ナンガパルパット (裸の山:8126m) イスラマバード ⇨ スカルド(6.18)



スカルド (2300m 6.18)



スカルド (2300m 6.19)



スカルド街中 (2300m)



スカルド街中



バルトロ氷河登山口アスコーレへ (スカルド==アスコーレ:大凡120キロ)



◆ **First Stage** アスコーレ(3000m)

・バルトロ氷河・K2・ブロードピーク・ガッシャーブルムなどの登山口となる村

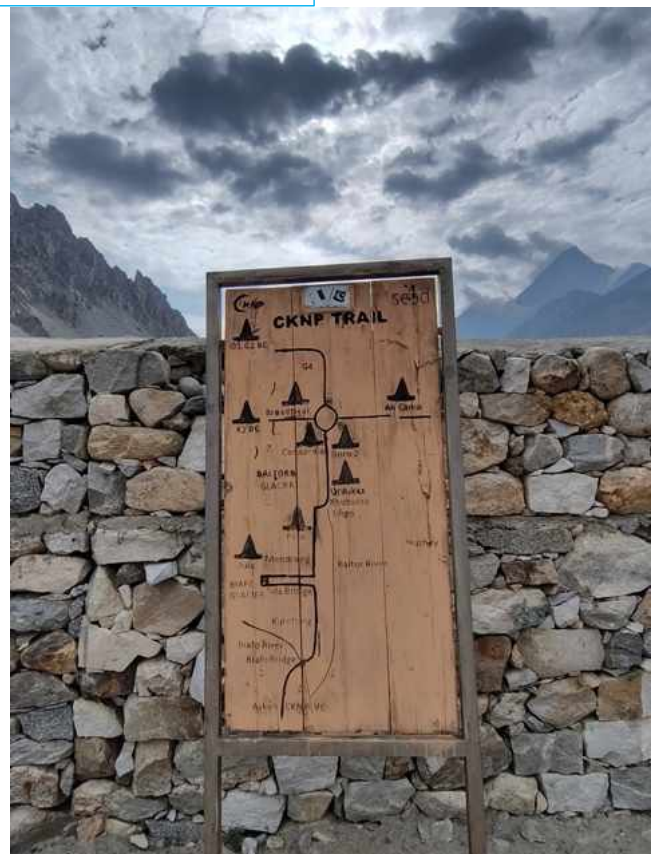
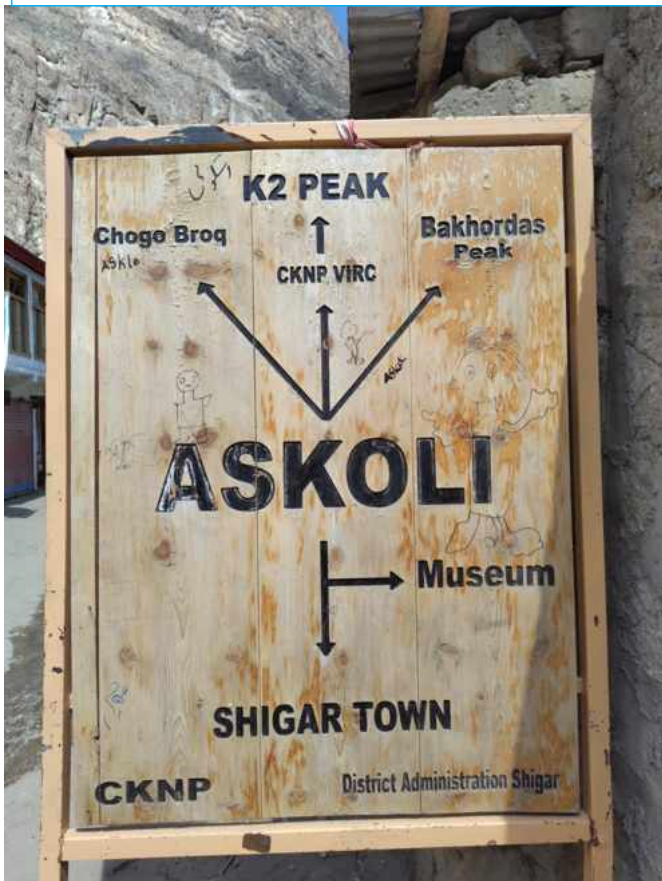
バルトロ氷河⇔⇔⇔コンコルディア⇔⇔⇔ブロードピークBC⇔⇔⇔K2BC⇔⇔⇔

⇔⇔⇔コンコルディア⇔⇔⇔ガッシャーブルム BC⇔⇔⇔ゴンドコロ峠⇔⇔⇔フーシェ

⇔⇔⇔スカルドウ 6.21 == 7.12までテント泊 (**First Stage**)



◆ アスコーレ村:K2・ブロードピーク・ガッシャーブルム登山口





◆1日の流れ

- 4時 :起床
- 4時半:採血
- 5時 :食事
- 6時 :出発
- 行動終了 ⇨ 採血
 - ⇨心拍数(HR)
 - ⇨血中酸素濃度(SpO₂)
- 就眠中
 - ⇨心拍数(HR)
 - ⇨血中酸素濃度(SpO₂)

血糖値:24時間モニター

採血: 乳酸値 Data

脂肪酸値 Data

その他

心拍数(HR)

血中酸素濃度(SpO₂)



First Stage

Hisper

Hisper Glacier

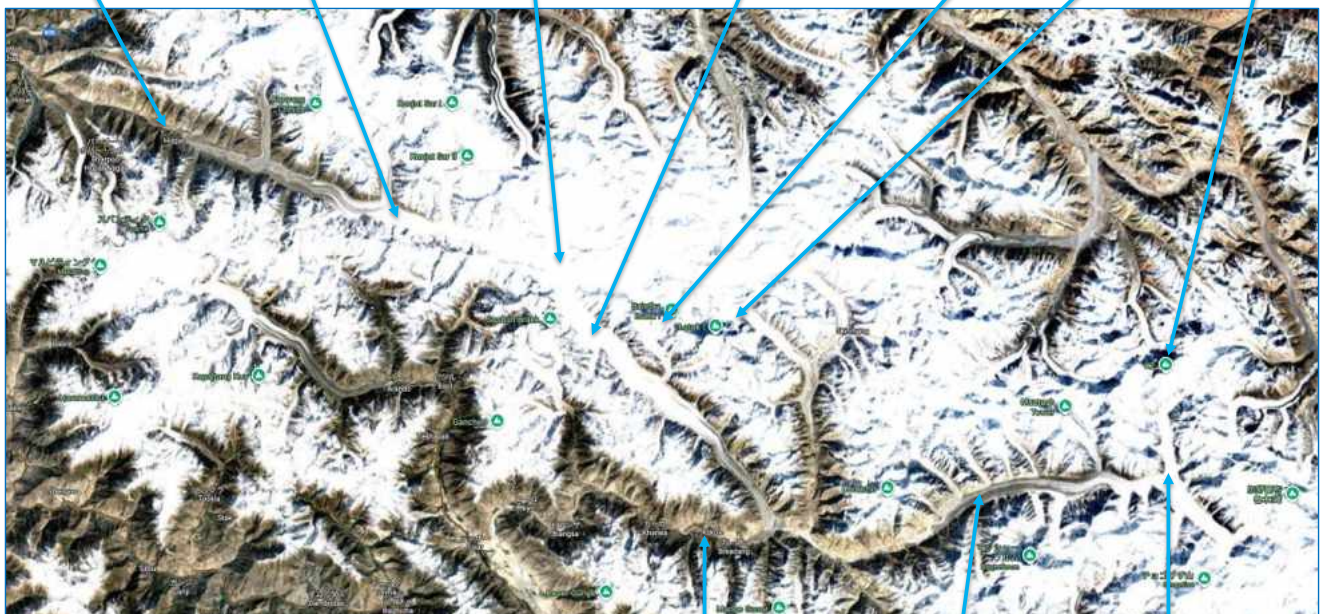
Snow Lake

Biafo Glacier

Baintha
Brakk

Latok

K2

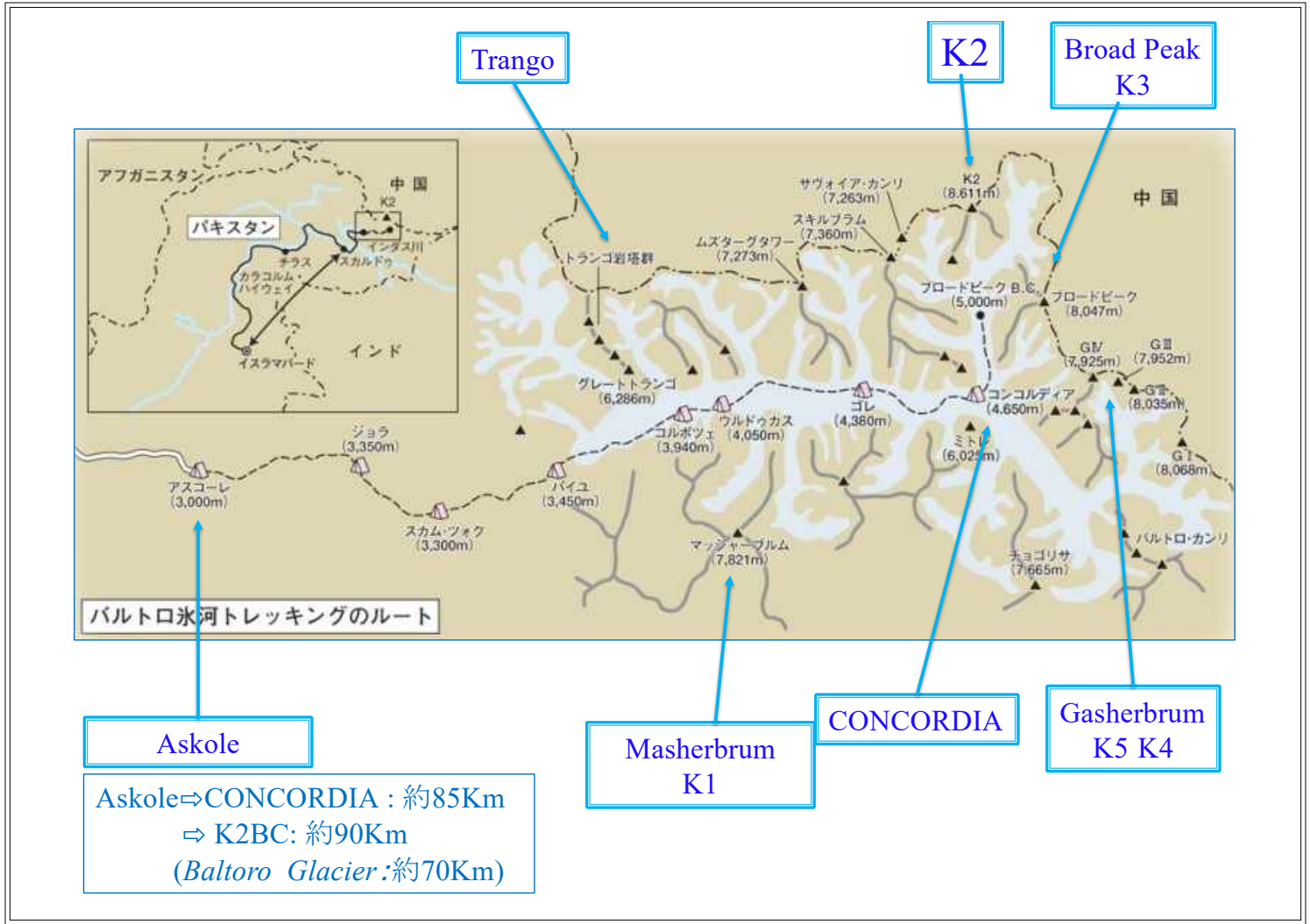


Askole⇨CONCORDIA : 約85Km
⇨ K2BC: 約90Km
(Baltoro Glacier:約70Km)

Askole

Baltoro
Glacier

CONCORDIA



悪路に足を取られて動けなくなる馬も・・・



渡渉・・・午後になると増水し渡渉が難しくなる



アスコーレ(6.21)⇨⇨⇨ジョラ(6.22)⇨⇨⇨モンジョン(6.23)⇨⇨⇨パイユ(6.24-25)



カラコルムの岩峰群



コルボツエ (3940m 6.26)



トランゴ岩峰群



グレート・トランゴ
(6286m)

カテドラル
(5866m)

トランゴ 岩峰群





テント場そばの慰霊碑



トランゴ岩峰群



グレート・トランゴ
(6286m)

ウルドカス (4050m 6.26)



不安定なモ
レーンの
アップダウ
ンが果てし
なく続く...



マツジャーブルム (K1:7821m)



ゴレII (4300m 6.28)



マッシャーブルム (K1:7821m)



マッシャーブルム (K1:7821m)



マッシャーブルム (K1:7821m)



ゴレII (4300m 6.28) テントの下は数百メートルもの氷・・・陽が沈むとぐっと冷え込む





コンコルディア (4500m 6.29)

マイター
6010m

K2 8611m
(チョゴリ)

ブロードピーク
8047m (K3)
ファルチェン・カンリ



マイター
6010m

K2 8611m
(チョゴリ)

ブロードピーク
8047m (K3)

ガッシャーブルムIV
(I 8080m, II 8035m)



マイター
6010m

K2 8611m
(チョゴリ)

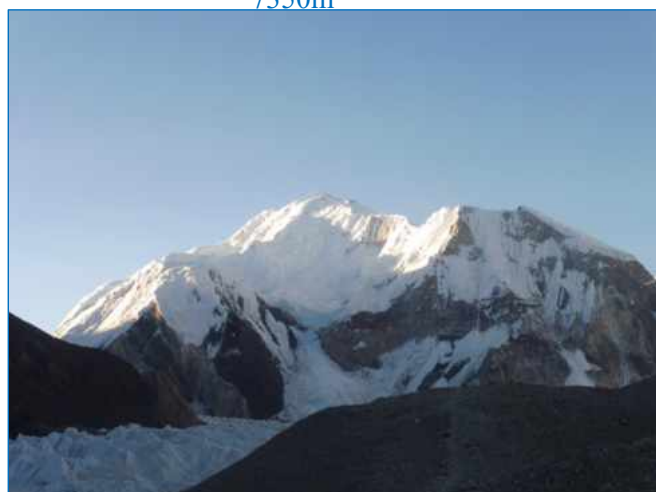
ブロードピーク
8047m (K3)



チョゴリザ
7665m



バルトロカリン
7350m



ガッシャーブルムBC (4950m) ⇨ コンコルディアへ



K2 (8611m; チェゴリ、Mt. Godwin-Austen)







2025.7.7





K2BC上部岩峰・ギルキーメモリアル





2025.6.11にギルキーメモリアルに設置された平出和也氏の銘板・・・傍らに中島くんの遺影



中島健郎くん

K2 BC(チョゴリ:8611m)

ギルキーメモリアルにて・・





ガッシャーブルム I, II BC
(輝く山: 8080m)



バルトロカリン (7312m)
(ゴールデン・スローン: 黄金の玉座)



ガッシャーブルム I, II BC
(輝く山: 8080m)



ガッシャーブルム I, II BC
(輝く山:8080m)



コンコルディア(4600m)テントから・・





コンコルディア K2



コンコルディア K2 ブロードピーク(K3)



パキスタン軍の救助ヘリ









公益社団法人

日本山岳会

The Japanese Alpine Club

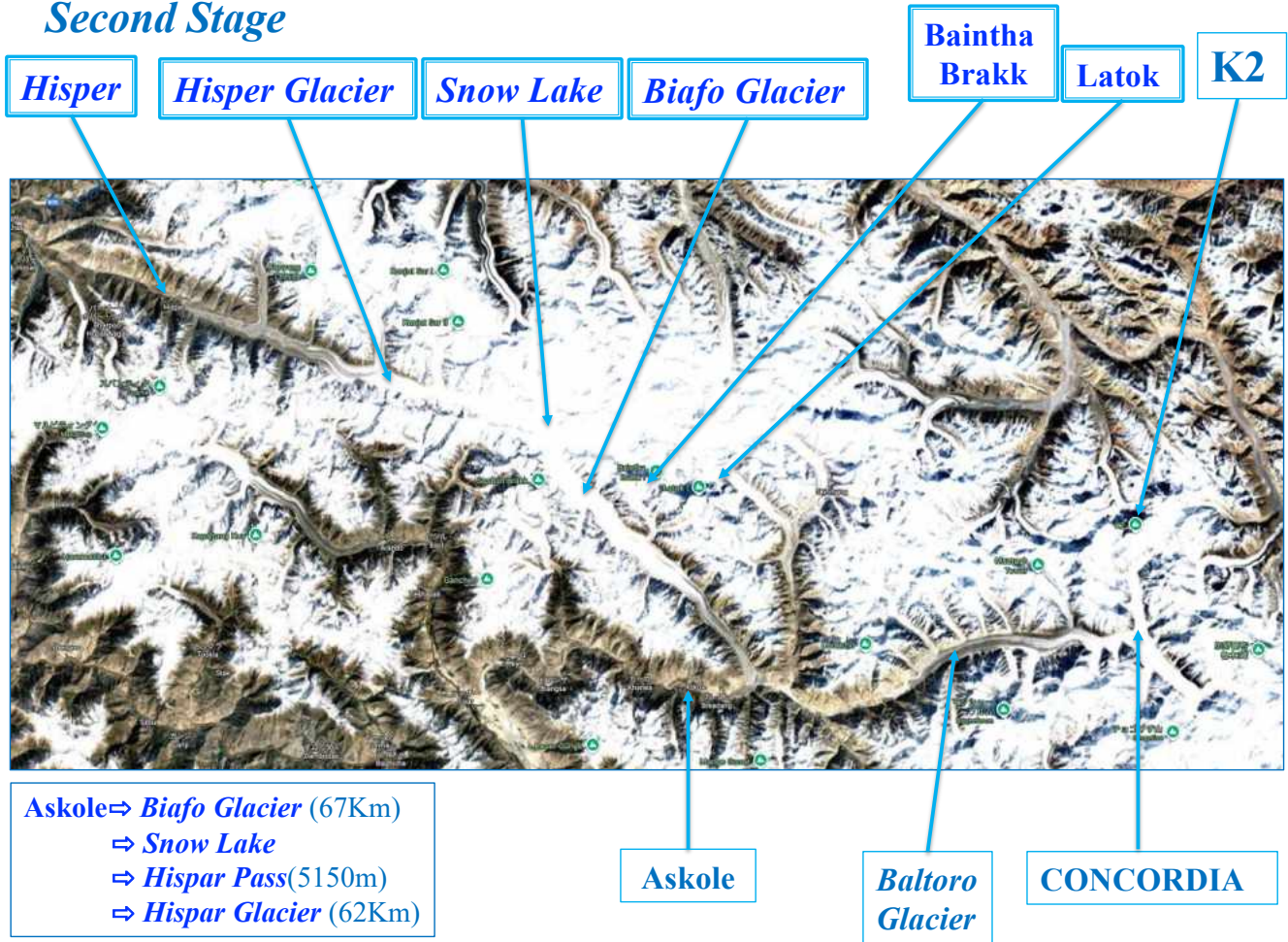
The Japanese Alpine Club
Great Himalaya Traverse
GHT 7th 2025

Biafo Glacier and Hisper Glacier Route

16 Jun. 2025 ~ 10 Aug. 2025

-Second Stage-

Second Stage



Askole => **Biafo Glacier** => **Snow Lake** => **Hispar Pass** => **Hispar Glacier** => **Hispar**
(3000m) (約67Km) (4877m) (5150m) (約62Km) (3000m)

アスコレ(7.17) => シャガラ(3940m) => ナムラ(7.18) => シャフオン(7.19) => バインタ(7.20)
=> マルホゴロ(7.22) => カルホゴロ(7.23) => スノーレイク(7.24) => Hispar Pass(5150m) => カニバサ(7.25)
=> ハグレシャガリチン(7.26) => シカムバリ(7.27) => ビタンマル(7.28) => グルブーン(7.29) => ヒスパー(7.30)



Biafo Glacier



Biafo Glacier



ビアフォ氷河(Biafo Glacier) スノー・レークから発する氷河 約67キロ
世界4番目の長さ

Biafo Glacier



Biafo Glacier



Biafo Glacier



Biafo Glacier





6000mを越える無名峰

Baintha Brakk 7285m



オーガ山群(右にはラトック山群)
 バインターブラック(Baintha Brakk 7285m)
 世界で最も登攀が困難とも・・・
 (氷河から3000mの岩壁:オーガ(人喰い鬼):登頂3回)

Baintha Brakk 7285m



バインタ・ルクパール氷河

6000mを越える無名峰が多数



Biafo Glacier

6000mを越える無名峰が多数



ビアフォ氷河(Biafo Glacier) スノー・レークから発する氷河 約60キロ
世界4番目の長さ

Biafo Glacier

6000mを越える無名峰が多数



6000mを越える無名峰が多数



Biafo Glacier



Biafo Glacier



Biafo Glacier



Biafo Glacier



Biafo Glacier 徐々にクレバスが多く..



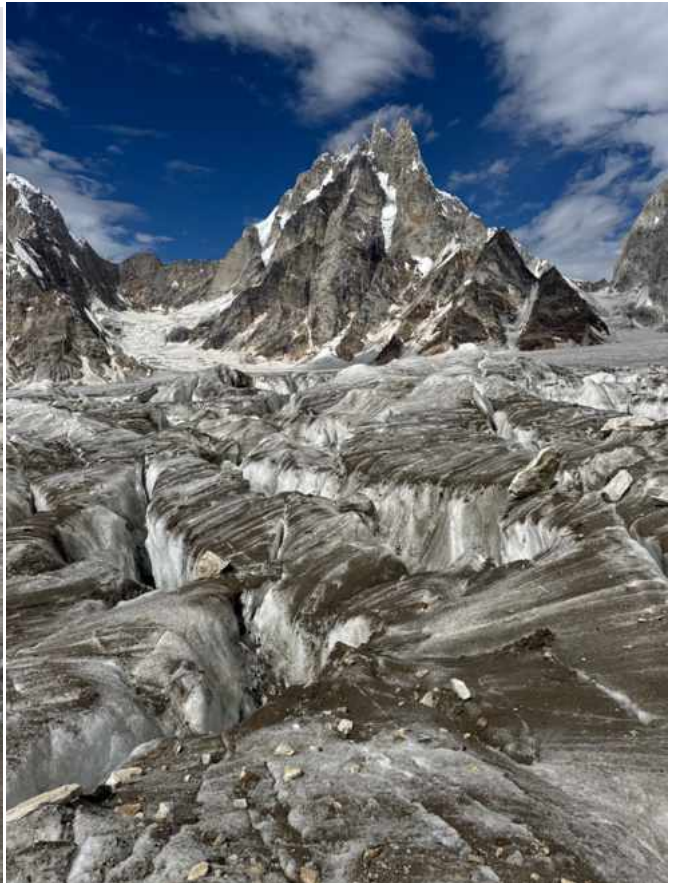
Biafo Glacier



Biafo Glacier



そこらじゅうクレバスだらけ・・・



Biafo Glacier クレバス帯



Biafo Glacier クレバス帯



Snow Lake ⇒ Hispar Pass



絶え間ない
雪崩と落石



Snow Lake



Snow Lake・・・世界で最も美しい場所とも・・・

Snow Lake 4877m



Snow Lake・・・世界で最も美しい場所とも・・・

ヒスパー・ウォール



Snow Lake〜



Hispar Pass 5151m〜



Hispar Pass 5151m〜



Hispar Pass 5151m



Hispar Glacier



ヒスパー氷河(Hispar Glacier) スノー・レークから発する氷河 約62キロ
世界5番目の長さ

Hispar Glacier 6000m峰



ヒスパー氷河(Hispar Glacier) スノー・レークから発する氷河 約62キロ
世界5番目の長さ

Hispar Glacier 6000m峰

無数のクレバス帯







日々刻々変化する氷河の中は迷路のよう・・・



氷河の迷路を抜けても脆い岩場の激しいアップダウンが続く・・

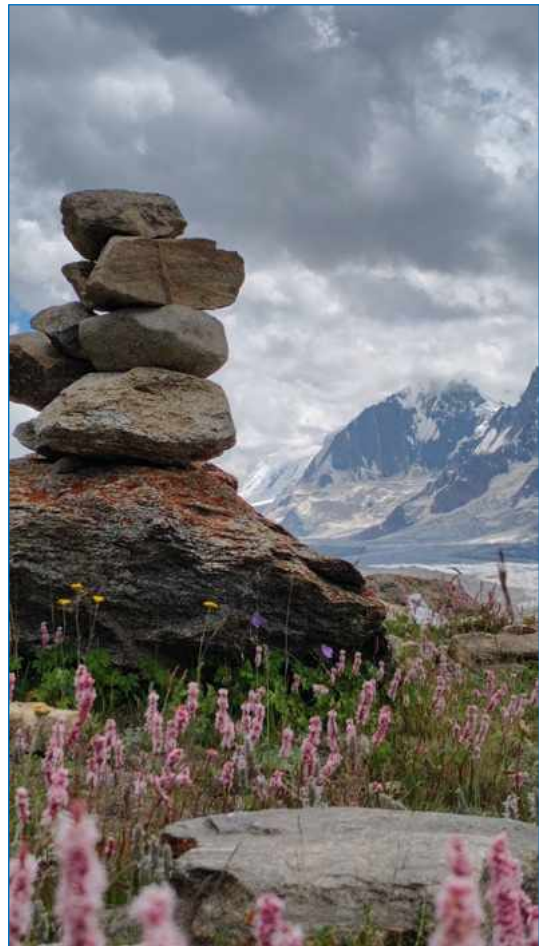




Makrong Chhish (6607m)



土の上のキャンプ地はとても暖かく感じます・・







Kunyang Chhish (7823m)
(隠れた峰)





遙か遠くにシスパーレ7611m(フンザ)



ヒスパー村..

畑には大麻が沢山、子供達が付いてきます



ヒスパー⇨フンザ(カリマバード)⇨クンジュラブ峠(4880m:カラコルム・中国国境8.3)へ

日本山岳会創立120周年記念

講演会・記念式典・晩餐会

2025年12月6日(土) 京王プラザホテル



式典・晩餐会には
天皇陛下もご臨席
GHTパネルも
ご覧になりました

